

2015年2月10日

「第1回蘇州ジャパンプランド」について

愛知県上海産業情報センター
安田 龍

1 「ジャパンプランド」について

「ジャパンプランド」は、日本の物産品や商品の販売、ステージショーを通じて、日本の食、生活、観光、文化の魅力を中国消費者に知ってもらうことを目的としたイベントであり、2012年に広東省広州市で開催されたことがその始まりとなります。それ以降、山東省青島市、四川省成都市、遼寧省大連市にも開催地を拡大し、中国4都市の大型商業施設等において開催されるようになっていきます。

このイベントの特徴は、民間主導による実行委員会が組織されており、中国各地を代表する大型商業施設において開催されるB to C向けのイベントとなっているところにあります。これまでには、食品、自動車、電化製品、生活用品、玩具、スポーツ、文具、教育等多岐に渡る分野の企業が出展し、ジャパンプランド商品のPRを行っています。

2014年は前述した4か所において開催し、いずれも来場者は数万人規模で計17万人を集客した実績があり、出展企業にとっては、多くの中国人消費者に対して、直接自社商品をアピールすることができる機会となっており、マーケティングの一環として参加される企業もあるとのことでした。

2 「第1回蘇州ジャパンプランド」について

「ジャパンプランド」としては、中国国内5ヶ所目の開催地として、江蘇省蘇州市にあるAEONモール蘇州呉中において、1月17日、18日の2日間、「第1回蘇州ジャパンプランド」が開催され、中国人消費者等約2万人が来場しました。

このイベントの開催にあたっては、他の地域と同様に民間主導による蘇州ジャパンプランド実行委員会が組織され、在上海日本国総領事館との共催により実施されています。

イベントでは、日本政府観光局（JNTO）上海事務所や日本貿易振興機構（JETRO）上海代表処の政府系機関の他、福島県、茨城県、沖縄県の地方自治体や民間企業が計15社・団体、20ブース出展し、日本の食品、製品の紹介・即売や観光PR等の情報発信を行いました。

また、会場内に設置されたステージでは、和太鼓、琴など和楽器の演奏や、

華道、和服・浴衣の着付け、よさこい踊り・阿波踊りの実演など様々なステージショーを通じて、日本の文化も紹介しました。

蘇州ジャパンプランドは、AEONモール内で開催されており、商品の販売にあたりAEONのレジを通す必要があるため、必然的にAEONモールとの商談の機会が創出されることが企業の皆様にとっては大きなメリットの一つであると言えます。

イベントに参加された企業の方からは、他のエリアとは違う商品の売れ行きが良かったので、マーケティングとしても大変参考になったとの意見が聞かれました。

実行委員会組織の一員であるJTB上海によると、蘇州ジャパンプランドは、他都市と同様に毎年継続して開催していく予定であり、今回の開催実績に基づいて、今後より幅広い分野の企業の皆様に出展していただき、中国人消費者に対して、日本の魅力をPRしていきたいとのこと。

上海産業情報センターでは、今後も中国における日本の商品、文化や観光PRについて、情報提供していきたいと思えます。

【蘇州ジャパンプランドの様子】



本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。